

柳井正

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長

右へ行くか、それとも左か。前へ出るか、あるいは退くか……。経営者は決断の連続です。大きな責任が伴うだけに、最後は誰にも頼ることができない。まさに、「経営者は孤独」といわれる所以ゆえんです。

この「決断」にフォーカスした連載企画をスタートします。第一回は「ユニクロ」創業者の柳井正氏。父から継いだ洋品店を、世界に冠たるアパレル企業へと成長させた柳井氏の決断の瞬間に迫ります。

ノンフィクション作家 野地秩嘉



第1回

店主ではなく、 経営者として生きる

世界各国に「ユニクロ」や「GU」店舗を展開するファーストリテイリング。会長兼社長は柳井正。早稲田大学を出た後、縁故でスーパードジャスコ(現・イオン)に入社したものの、すぐに退社。その後、友人のアパートに転がり込んで、フリーター生活をしてきた。

それから四十数年が経った。往時のフリーター青年は衣料、雑貨を販売する店を世界中に三二五八店展開し、グループ売り上げ一兆八〇〇億円を超える企業のトップになっている。

どこにでもいる青年が故郷の衣料品店の店長となり、それが世界企業を率いるビジネスマンになった……。では、何が彼を変えたのか。そして、彼はどこで決断して、成功への道を歩んでいったのだろうか。

「いつになったら、
あとはやるしかない」

故郷の山口に戻った彼は父親がやっていた小郡商事に入り、洋品店の店長になる。店は「メンズショップ